

市立中央図書館にYAコーナーを設置した目的は

YA世代の子どもたちの成長と居場所づくりを目的としている

田村 智恵美議員(ネット) 市立中央図書館に設置されているヤングアダルト(YA)コーナーについて、その設置目的を聞きたい。



▲YAコーナー(中央図書館)

文化スポーツ部長 多感なYA世代の子どもたちが読書を通じて、同世代の主人公の体験や感情を共有することで健康やかな成長の糧となること、また、同コーナーが子どもたちの相互コミュニケーションの場となり居場所となることを目的としている。

文化スポーツ部長 YA世代の多感な成長期を理解し、図書館資料や地域情報等を熟知したサービス提供ができることが必要と考える。また、専任の担当者の配置については、現在の図書館人員と業務量の関係から困難と考える。

介護保険法の改正に伴い 保険料等の増が危くされるが市の考えは サービスの需要が高まっており 保険料の上昇は避けられない

服部 ひとみ議員(共産) 介護保険法の改正により、介護保険料やサービス利用料の増などが危くされるが、このような状況について、市としての考えを聞きたい。また、保険料を下げるために一般会計の財源をあててはどうか。

意見を踏まえつつ、他市の動向を注視し検討していきたい。福祉保健部長 介護保険の財源構成は国で定められているため、一般会計の財源を保険料にあてることはできない。

市立四谷さくら公園の整備計画 必要があることを認識している。

市都市サイン基本計画 見直していく考えは

景観ガイドラインとの整合性について 検討を始めたところである

西村 陸議員(公明) 市内には、施設案内や交通安全、防災・防犯についての表示や看板が数多く設置されているが、表示類の仕様等についてガイドラインを定めているか。

都市整備部長 本市では、公共施設や景観地への誘導、また市のイメージアップを図るため、平成2年に市都市サイン基本計画を策定しており、表示類の設置箇所やデザイン、材質などを定めている。

自転車総合対策の公表を受け 市はどのように取り組む考えか

総合対策の基本的考え方に準拠し 通行環境の整備を進めていきたい

福田 千夏議員(公明) 国は、平成23年10月に「良好な自転車交通秩序の実現のための総合対策」を公表したが、これを受け、市としてどのように取り組んでいく考えか。

市立四谷さくら公園の整備計画 必要があることを認識している。



▲スタントマンを使った交通安全教育

警察署等と連携しながら、自転車事故の防止に努めるとともに自転車の秩序ある利用の推進を図っていききたい。

災害協定や応援協定を 自治体間で締結する考えは

応援協力体制の充実に向けて 取り組んでいきたい

吉村 文明議員(公明) 災害時に市の情報を遠隔地の自治体ホームページに代理掲載してもらおう仕組みが注目されているが、自治体間で災害協定や応援協定を締結することについて、市の考えを聞きたい。

災害時の相互応援に関する協定



ムページの検索機能が使えないとの声を聞くが、改善する考えはないか。

福祉避難所マニュアルを 作成する考えは 市地域防災計画の見直しを踏まえ 作成の協議をしていく

奈良崎 久和議員(公明) 本市では災害時要援護者支援マニュアルの作成等、災害時における高齢者対策が順次進んでいく。

市立四谷さくら公園の整備計画 必要があることを認識している。

国連アジア極東犯罪防止研修所の 跡地利用について 住民の要望に対する取組は

地区計画等を活用して まちづくりの実現に 努めていきたい

重要であると認識しており、今後、利用者の声を聞きながらホームページを運用していきたいと考えている。

遠田 宗雄議員(公明) 国連アジア極東犯罪防止研修所は国際社会に貢献してきたことから、移転後の建造物保存を望む声がある。

市立四谷さくら公園の整備計画 必要があることを認識している。